



ナシ特報

No. 6

平成 28 年 6 月 10 日
J A 中野市営農センター
J A 中野市ナシ部会

梅雨期間は高温多湿状態が続き、果実腐敗性病害が感染拡大します。この期間は常に予防散布を徹底してください。また、5 月中旬からハダニ類が早期発生傾向です。盛夏期の多発を防ぐため、早い段階からの抑制対策を講じてください。詳しくは下記をお読みください。

● 和梨の定期防除（収穫前や収穫中の作物への飛散に十分注意してください。）

【有袋】6 月下旬の薬剤散布（前回より 15 日後）

散布時期	6 月 20 日～25 日 * 注意事項③参照			◆ 散布日：6 月 日
散布薬剤	水	1 0 0 リットル		◆ 散布量 リットル
	展着剤	2 0 ml	* 注意事項②参照	
	ベルクトフロアブル	6 6 ml (14 日前、5 回)		
	ダズバン D F (劇)	3 3 g (21 日前、3 回)	* 注意事項④参照	
対象病害虫	黒斑病、シンクイムシ類、ハマキムシ類、クワコナカイガラムシ、（ハダニ類）* 注意事項②参照			
散布量	10 a 当り：450 リットル以上			
注意事項	① 上記の散布時期は目安です。前回散布後から雨が続けている場合は時期を早めて散布してください。 ② 通常展着剤（ハイテンパワー等）に代えて、固着性展着剤のアビオン E の 1,000 倍（100 リットル当り 100ml）を使用すると、薬液付着効果が高まる。 ③ ハダニ類の発生が心配される場合は、カネマイトフロアブル 1,000 倍（前日、1 回）を加用する。 ④ ダズバン D F は劇物登録薬剤です。購入の際は印鑑を持参してください。 ⑤ 死角がないように散布量は多めに設定する。また、園地の隅や外周等は手散布で補助する。			

（参考）有袋 7 月上旬の薬剤散布予定：7/5～10

【無袋】6 月中旬の薬剤散布（前回より 10 日後）

散布時期	6 月 15 日～20 日 * 注意事項③、④参照			◆ 散布日：6 月 日
散布薬剤	水	1 0 0 リットル		◆ 散布量 リットル
	展着剤	2 0 ml	* 注意事項②参照	
	ベルクトフロアブル	6 6 ml (14 日前、5 回)		
	ダズバン D F (劇)	3 3 g (21 日前、3 回)	* 注意事項⑤参照	
対象病害虫	黒斑病、シンクイムシ類、ハマキムシ類、クワコナカイガラムシ、（ハダニ類）* 注意事項②参照			
散布量	10 a 当り：450 リットル以上			
注意事項	① 上記の散布時期は目安です。前回散布後から雨が続けている場合は時期を早めて散布してください。 ② 通常展着剤（ハイテンパワー等）に代えて、固着性展着剤のアビオン E の 1,000 倍（100 リットル当り 100ml）を使用すると、薬液付着効果が高まる。 ③ ハダニ類の発生が心配される場合は、カネマイトフロアブル 1,000 倍（前日、1 回）を加用する。 ④ 黒斑病の発生が心配される場合は、ロブドー水和剤 800 倍(14 日前、5 回)を加用する。 ⑤ ダズバン D F は劇物薬剤です。購入の際は印鑑を持参してください。 ⑥ 無袋栽培の薬剤散布間隔は、今回から梅雨が空ける 7 月中旬（第 10 回）までは、概ね 10 日で進めてください。 ⑦ 死角がないように散布量は多めに設定する。また、園地の隅や外周等は手散布で補助する。			

（参考）
無袋第 6 月末の薬剤散布予定：6/25～30
無袋第 7 月上旬の薬剤散布予定：7/5～10

◆ 西洋梨の定期防除は裏面をご覧ください。

西洋梨の定期防除（収穫前や収穫中の作物への飛散に十分注意してください。）

輪紋病の最重要防除期間です。この期間に輪紋病の感染が進むと、果実成熟期に多発します。この期間の薬剤散布は常に予防効果を徹底してください。また、5月中旬からハダニ類が早期発生傾向です。密度が低いこの時期に殺ダニ剤の散布を徹底してください。

【有袋】6月中下旬の薬剤散布（前回より 15 日後）

散布時期	6 月 15 日～20 日頃				◆ 散布日：6 月 日
散布薬剤	水	1 0 0 ℓ			◆ 散布量 リットル
	展着剤	1 0 mℓ			
	カネマイトフロアブル	1 0 0 mℓ	（前日、1 回）		
	ダズバンDF (劇)	3 3 g	（21 日前、3 回）	*注意事項③参照	
	オキシラン水和剤	2 0 0 g	（3 日前、9 回）	*注意事項②参照	
対象病虫害	輪紋病、シンクイムシ類、ハマキムシ類、クワコナカイガラムシ、ハダニ類				
散布量	10 アール当り：600 リットル				
注意事項	① 今回の薬剤散布は、袋掛け前に確実に実施する。また、散布後 3 日以内に袋掛けを完了する。また、雨が続けている場合は、上記の散布時期より前倒して実施する。また、散布後 3 日以上経過し袋掛け前に雨が合った場合は、オキシラン水和剤 500 倍(3 日前、9 回)を特別散布してから袋かけを行なう。 ② 有機銅成分を含む薬剤（オキシラン水和剤やキノンドーフロアブル等）の使用回数は合計で 9 回以内であるので注意する。 ③ ダズバンDFは劇物薬剤です。購入の際は印鑑を持参してください。 ④ 死角がないように散布量は多めに設定する。また、園地の隅や外周等は手散布で補助する。また、葉やけ防止のため、涼しい時間帯に散布する。				

（参考）西洋梨有袋 7 月中旬の薬剤散布予定：7/5～10（前回より概ね 20 日後）

◆ 腐らん病対策

本年は全域で早期多発傾向です。梅雨期間は最も感染拡大します。病斑を見つけ次第削り取りを進め、トップジン Mペースト等を塗布してください。早めの感染防止対策を進めてください。

◆ 有袋栽培の推進について

西洋梨販売先からのクレームは、無袋栽培に集中しています。特に果実腐敗性の輪紋病対策・品質向上・ロス率の軽減のため、積極的に袋掛けを実施してください。**やむを得ず、無袋栽培に取り組まれる方は、6月中旬から薬剤散布内容が変わりますので、園芸課担当までご連絡ください。無袋の特報を配布します。（第 1 報 6/10 発行済み）**

◆ 仕上げ摘果について

収穫時期の前進化が予想される本年は特に早めの管理作業を徹底してください。主力のラフランスの着果量は概ね確保されている状況ですが、着果のバラツキがある場合は枝や樹毎に調整を図り、生産量の確保に努めてください。また、5月中旬からカメムシ類等の食害果や極端に肥大が悪い果実も目立ちます。仕上げ摘果の段階でできるだけ排除するようにしてください。